

# 平成23年度事業計画

## 1. 基本方針

港湾利用の促進と振興を通じて、我が国経済の発展及び国民生活の安定と繁栄を図るため、以下の基本方針に基づき事業を進める。

- (1) 港湾利用の促進と振興のため、制度の更なる拡充に向け、平成24年度政府予算編成に向けた取り組みを行うとともに、国民の港湾への理解を増進するための広報活動を行う。
- (2) 港湾をとりまく諸情勢に対応して、港湾計画、物流、港湾経営、港湾保安等の調査、研究を進め、政策提言を行う。
- (3) 会員への積極的な情報の発信、意見の聴取、集約等を行い、会員のニーズに的確に対応した事業を実施する。このため会員の協力を得つつ各専門委員会を機動的に開催するとともに新たな活動にも積極的に取り組む。
- (4) 21年12月に施行された公益法人改革三法に適合する公益社団法人への円滑な移行を目指して引き続き所要の取り組みを行う。

## 2. 港湾整備・振興事業

### 2-1 港湾整備・振興促進運動

港湾利用の促進と振興及び制度の拡充を図るため、全国港湾知事協議会、全国市長会港湾都市協議会及び日本港湾振興団体連合会など関係諸団体の協力を得る。展開にあたっては、実行委員会を設置し「港湾を考える全国集会」を開催するなど効果的な運動を展開する。また、支部、地方の港湾協会との連携を図る。

### 2-2 広報活動・振興活動

港湾が国民の生活に果たしている役割、及び、わが国経済の国際競争力の強化や地域経済の再生等のために展開されている港湾での取り組みについて、国民の理解を深めるため、情報提供、講演等を開催する。また、広報や振興活動への支援、さらに会員等から出される港湾の振興等に関する要望への対応を図る。

#### (1) 一般広報活動等

港湾関係諸団体とともに、一般国民及び有識者からの「港に対する理解」と「港湾整備に対する理解」を得るために広報活動及びその支援を行う。

#### (2) 海の月間関連行事への協賛等

「海の日」を中心に開催される「海の月間」に関連する行事等を、地方公共団体、海事関係団体とともに実施、支援する。

#### (3) 「港と文化を語る集い」の開催

港湾空間高度化環境研究センターと共催で、秋期に第15回の講演会を企画開催する。

## 2-3 関係団体への協賛、協力等

港湾に関する国際団体の活動にわが国の意見を反映させるとともに、港湾を場とする諸事業に参画するため、国際港湾関係団体の活動、港湾に関係する学会の活動等に協賛協力する。

(主な団体)

国際航路協会、国際港湾協会、アジア交通学会、沿岸域学会、運輸政策研究機構、国際港湾交流協力会

## 3. 港湾政策研究等事業

### 3-1 研究評価委員会

平成17年度に設置した研究評価委員会による研究計画や研究体制など重要事項に関する指導・助言の下に、重点研究分野である港湾計画、物流、港湾経営、保安・危機管理について研究を進めてきた。今後も、必要に応じて研究評価委員会を開催し指導・助言を受ける。

### 3-2 物流委員会

港湾政策研究所が行う物流関連の事業について様々な指導・助言を得るため、平成23年度において、物流に関する人材の育成のための物流講座の開催、物流関連情報発信等について審議する。

### 3-3 研究レポート編集委員会

港湾政策研究所の研究レポートに関する編集・査読を行うため、必要に応じ研究レポート編集委員会を開催する。

### 3-4 港湾政策研究

港湾をとりまく状況は、国際競争力の強化、地域の再生、また安全に対する意識の高まりなどにより大きく変化している。このような情勢変化に戦略的に取り組み、各港湾の計画等港湾に関する施策に反映していくため、港湾政策研究を推進する。

研究の推進にあたっては、研究調査委員会による活動、国土交通省、地方公共団体との連携に加え、客員研究員等の活用を図る。

港湾政策研究所における重点研究分野は、以下の4分野とする。

- ① 港湾の計画に関する研究
- ② 港湾の競争力強化に関する研究
- ③ 物流に関する研究
- ④ 保安・危機管理に関する研究

平成23年度における主要な調査研究活動は以下のとおりである。

- (1) 港湾計画分野においては、博多港、佐伯港、釧路港等で長期構想調査等を実施する。
- (2) 港湾の競争力強化の分野においては、ロジスティクス機能の強化による成長戦略

や経済情勢厳しき中での港湾振興方策などの管理運営体制の調査研究に取り組む。

(3) 物流分野においては、港湾に関わる物流情報の集積と発信を行うとともに、引き続き物流講座を開講するなど人材育成に取り組む。

(4) 保安・危機管理分野においては、港湾ターミナルにおけるITを活用した出入管理の高度化やコンテナ内容物の検査方法等に関する調査研究に取り組むとともに、災害時における港湾活動の事業継続計画に関する調査や保安設備の改善に関する調査を実施する。

### **3-5 情報の集積と発信**

港湾に関する総合的な情報を集積、発信するため、協会情報の電子化、研究レポートの発行および協会ホームページへの掲載を進めるとともに、港湾の抱える課題に対応した講演会やシンポジウムを開催する。

### **3-6 交流の促進**

港湾の振興のため、情報交流、人的交流の促進を図る。このため、シンポジウム、意見交換会等交流事業の実施を積極的に行うほか、全国港湾知事協議会、全国市長会港湾都市協議会、日本港湾振興団体連合会等の行事に参加する。

また、会員の要請の把握に努め情報の提供を図るとともに、有識者やオピニオンリーダーとの繋がりを保持して会員サービスの向上をはかる。

さらに、国際交流活動として、5月にベルリン（独）で開催される国際航路協会年次総会および釜山（韓国）で開催される国際港湾協会総会に参加するとともに、国際港湾協会日本会議や国際航路協会海港委員会の活動に協力する。

また、秋に中国で開催される北東アジア港湾協会長会議、北東アジア港湾シンポジウムに参加する。

## **4. 出版・講習会等事業**

### **4-1 研修・講演会事業の実施**

港湾に関する知識の向上、普及、啓発を図るため会員及び港湾管理者の職員や一般の港湾関係者を対象に、港湾行政実務研修、港湾行政セミナー、港湾講演会等を開催する。

また、特定非営利活動法人 港湾保安対策機構と共催で「港湾施設保安職員講習」を実施する。

### **4-2 資格認定事業の実施**

港湾の保安業務に関する専門知識、能力を有する人材を育成するとともに、現場業務の重要性について対外的評価を向上させ、確実で適正な保安業務の実施に資するため、「港湾保安管理士」資格認定制度の周知を図るとともに、1級港湾保安管理士の試験と2級港湾保安管理士の認定を行う。

### **4-3 情報誌「港湾」の編集・発行等**

関係者間で現状認識や情報を共有すること、一般への港湾関連情報の発信をはかるこ

と、明確なオピニオンを発信すること、港湾に関する情報の歴史的記録としての役割を果たすこと等を目的として、平成23年度編集方針（第306回理事会報告）に従い情報誌「港湾」を編集し、毎月発行する。

また、情報誌「港湾」編集の一環として、本年度も港湾海岸防災協議会との共催により、「2011豊かなウォーターフロント」フォトコンテストを実施するとともに、「港湾」読者が選ぶポート・オブ・ザ・イヤーの表彰事業を継続して実施する。

#### **4－4 今年度改訂予定図書等**

継続的に刊行している各種基準関係図書等について、必要に応じ内容を更新して編集・発行する。

- ・港湾土木請負工事積算基準
- ・数字でみる港湾2011

### **5. 港湾功労者等表彰事業**

#### **5－1 港湾功労者表彰事業**

港湾の整備・振興、管理運営、計画、設計、施工等に関して、その功績が顕著なる者に対して表彰を行う。

#### **5－2 港湾研究奨励基金事業（特別会計事業）**

港湾研究奨励基金に基づき、優れた港湾の研究、港湾建設事業、また港湾に関する各種企画による振興活動に対し、それぞれ、論文賞、技術賞、企画賞、また、永く港湾に関して優秀な事業を成し遂げた技術者を鮫島賞として表彰する。

### **6. その他**

企画委員会において2012年（H. 24）に90周年を迎える当協会の記念事業について検討する。